

教科	科目名	単位数	学年	学科またはコース	履修
数学	数学Ⅱ	2	3	全学科	共通

(1) 科目のねらい、使用教材など

科目のねらい	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
使用教材など	「改訂 新数学Ⅱ」(東京書籍)、「ニューファースト 改訂 新数学Ⅱ」(東京書籍)、補充プリント

(2) 年間予定

期	月	時数	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト
一 学 期	4 5 7	L3 : 25 G3 : 26 E3 : 27	4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数	* 指数法則や対数の性質を理解する。 * 指数関数や対数関数のグラフが描ける。
二 学 期	8 9 12	L3 : 31 G3 : 30 E3 : 31	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 2節 導関数の応用 3節 積分	* 微分係数や導関数が求められる。 * 3次関数のグラフが描けるようになる。 * 積分を利用して面積を求めることができる。
三 学 期	1 2 3	L3 : 6 G3 : 6 E3 : 6	(総復習)	

(3) 評価の観点

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
観点の趣旨	数学のよさを認識し、問題の解決に向けて学んだことを積極的に活用しようとする。	物事を様々な視点で捉えるなど数学的な見方や考え方を身につけている。	問題の解決に向けて基本的な計算や数学的な処理が短時間で正確にできる。	定義、公式、法則等を正しく理解し、数学の基礎知識を身につけている。
評価方法	出席状況等 (確認) 課題提出等 (点検) 授業の様子 (観察)	定期テスト (採点) 小テスト等 (点検) 授業の様子 (観察)	定期テスト (採点) 小テスト等 (点検) 授業の様子 (観察)	定期テスト (採点) 小テスト等 (点検) 授業の様子 (観察)

(4) 評価項目・評価点など

評価項目・学習にあたって・評価点		
①定期テスト	定期テスト (中間・期末・学年末) は年5回あります。定期テストは、原則として100点満点で出題されます。学期の評価において、テストの部分は約7割とします。	70点
②平常点	授業に休まず参加すること。 課題は期限を守って提出すること。 授業中の発言・発表では積極的に行うこと。	30点